

# みんなのひろば

## 視点

歯科技工士となり今年で19年になりました。この職業に就いてから銀歯や入れ歯など多くの歯科補綴物製作に携わってきましたが、歯を作ることは思っていた以上にとても難しく根気のいる作業でした。ですが、製作物が完成した時の達成感ややりがいを感じ自分の中にも得意な分野も出てきました。

平穩ではありませんでしたが、いつからか物足りなさを感じ始めていた頃、7年前に転機が訪れました。自身の夢でもあった「エピテーゼ」という補綴物製作の勉強ができることになったのです。

まずエピテーゼとは何か、聞きなれない方も多くいらっしゃるかと思えます。

エピテーゼとは腫瘍、外傷、先天奇形などが原因で生じた顔や体表面の欠損をシリコーンなどの人工物で審美的に補填修復するもので「人工ボディー」とも呼ばれています。

農業や工場などで機械に指を巻き込まれ指を失われた方、乳がんで乳房の切除をされた方、口腔がんが原因で顔面の一部を切除された方、生まれつきお体の一部が欠損・変形されている方など理由はさまざまですが、お体の一部を失い、見た目の問題に悩んでいる方に対して直接肌に装着しても問題のない安全性の

合わせて目立たないように製作します。

近年では手術によって変化

認められているシリコーンを使い、欠損部の修復を行うものです。形態や色味は欠損している周囲に



高崎市片岡町

けいこ 高崎 圭子

はぎわら 萩原 秋原

歯科技工士

## 身体の欠損を補填修復

「再建手術にかかる時間がない」「再建手術をしなくても医師からは無理と言われた」など再建手術に対して消極的な考えや根本的に再建手術での修復が不可能な場合もあります。

以前は「欠損したまま」または「再建手術での修復」の2択でしたが、新たにエピテーゼというジャンルが増え、欠損に悩んでいる方々のライフスタイルに合わせた選択ができます。

お体に欠損のある方々は欠損している部位が日常生活では他人が目にする機会がない場所であったとしても、喪失感やそれに伴う精神的苦痛に常に襲われています。100パーセント本物というわけにはいきませんが本物そっくりな質感、色味のエピテーゼを装着することにより日々の生活に「安心感」が得られることでしょう。

エピテーゼは単純に欠損部位を修復するアピアランスケア(外見のケア)だけではなく、欠損に悩まれている方々のメンタルケアにも貢献でき、結果QOL(生活の質)の向上につながるものと確信しております。

7年前に夢を追いかけて行動に移したことは今でも間違いないではなかったと心に強く思います。

### 【略歴】歯科技工士の傍ら

エピテーゼの技術を学び、2011年に萩原歯研・エピテーゼ製作室メディカルラボを開設。製作技術者の育成にも取り組む。高崎市出身。

エピテーゼとは

した体の一部を再形成・再建するための外科手術、「再建手術」も浸透しつつあります。しかし「二度手術で味わった痛みや苦しみを再び経験した